

2019年5月31日

報道関係各位

シンジェンタジャパン株式会社

シンジェンタジャパン株式会社
平成31年度農薬危害防止運動推進ポスターを作成

シンジェンタジャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 的場 稔)は、製品のライフサイクル全般にわたり、責任ある、倫理的な製品の取扱いに傾注しています。製品の安全使用は、当社の最優先事項です。そのため、農薬の安全性や適切な取扱いについて、研修会や様々なメディアを通じて啓発活動を展開しています。

本年もその一環として、農林水産省、厚生労働省、環境省、都道府県、特別区、保健所設置市が主体となり、原則として6月1日より8月31日にかけて実施される「農薬危害防止運動」に賛同し、2019年度農薬危害防止運動推進ポスターを作成いたしました。

本年度は、縁側でくつろぐ浴衣姿の親子の写真と、「きちんと。ただしく。」という親しみ易くも農薬使用者の「責任ある使用」を訴えるメッセージとともに、農薬の適正な取り扱い、周辺住民や環境への配慮と近接作物への注意、農薬の保管管理の徹底を呼びかけています。

作成いたしました20,000枚を超えるポスターは、農薬流通関係者などにお配りし、農薬の安全使用と保管管理の徹底を啓発してまいります。

本件に関するお問い合わせ先
シンジェンタジャパン株式会社
技術企画渉外部
スチュワードシップ推進
今瀧 博文

お問い合わせ窓口
TEL : 0570-550-042
MAIL: campaign.jp@syngenta.com

シンジェンタについて

シンジェンタは、アグリビジネスのリーディングカンパニーです。数百万の生産者が限りある資源を有効利用できるよう支援することにより、世界の食料安全保障の向上に貢献しています。ワールドクラスの科学と革新的な作物ソリューションを通じて、世界90カ国以上で2万8,000人超の社員が作物生産の変革に取り組んでいます。私たちは、劣化した農地の回復、生物多様性の促進、および農村地域社会の活性化をコミットしています。更に詳しい情報は、<http://www.syngenta.com>、www.goodgrowthplan.com および<http://www.syngenta.co.jp>（日本語）をご覧ください。またはツイッター www.twitter.com/Syngenta でシンジェンタをフォローして下さい。

将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。そのような記述は、現在の予想、仮定、評価、推定に基づくものであり、様々なリスクや不確定要素その他による影響のため、結果、活動水準、実績、業績は、将来の見通しに関する記述とは異なる可能性があります。将来の見通しに関する記述は、「信じる」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「であろう」、「かもしれない」、「すべきである」、「推定する」、「予測する」、「潜在的な」、「継続する」といった単語や表現、またはこれらの否定形、または類似した表現により一般的に特定されます。限定的な仮定が不正確または未知のリスクまたは不確定性の発生を示した場合、実際の結果と時期は、将来の見通しに関する記述で論じられた結果や時期とは異なる場合がありますので、こうした記述に過度に依存すべきではありません。シンジェンタは、このプレスリリースおよびその他が扱う時期より後に派生した進展を反映させるため、将来に対する見通しに関するいかなる記述もそれを更新する意図と義務を一切持たないものとします。